

ま え が き

森林が持っている地球温暖化の防止、県土の保全、水源のかん養、生物多様性の保全など多様な機能は、私たちが安心・安全で快適な生活をしていくうえで重要な役割を果たしています。

しかしながら、長期的に県産材需要や木材価格が低迷してきた中、森林所有者の施業意欲の低下により適切な間伐が実行されない等の状況が一部に見られるほか、林業就業者の減少・高齢化が進んでいるなど森林づくりを支える林業の情勢は依然として厳しい状況にあります。

このような現状を踏まえ、本県では、森林を荒廃から守り、健全な状態で将来の世代に引き継いでいくために、「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定し、従来からの森林・林業・木材産業振興施策に加え、平成18年度から導入した森林環境税を財源とした「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に取り組んでいるところです。

また、地球温暖化の防止に貢献するための京都議定書に基づく温室効果ガス6%削減約束の達成に向けて、県は福島県森林吸収量確保推進計画を平成20年12月に策定し、間伐等の森林整備・保全を計画的に推進することとしています。

本書は、本県の森林・林業・木材産業全般の現状、各種施策、事業の実績及び推移を平成19年度を中心に取りまとめたものです。

本書作成の意義をご理解いただき、関係各位が広く活用され今後の森林・林業・木材産業の発展のため役立てていただければ幸いです。

最後になりましたが、本書を作成するにあたり、資料の提供についてご協力いただきました関係機関等に対し、厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

福島県農林水産部長 木戸利隆